



# 平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 スターツ出版株式会社  
 コード番号 7849 URL <http://starts-pub.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 菊地 修一  
 (氏名) 金子 弘

TEL 03-6202-0311

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年12月期第1四半期の業績(平成28年1月1日～平成28年3月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	968	△5.5	69	△15.6	73	△15.1	41	△14.1
27年12月期第1四半期	1,024	6.3	82	402.4	86	292.7	48	165.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	21.60	—
27年12月期第1四半期	25.13	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年12月期第1四半期	4,417	3,577	81.0	1,863.32
27年12月期	4,386	3,566	81.3	1,857.40

(参考)自己資本 28年12月期第1四半期 3,577百万円 27年12月期 3,566百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年12月期の業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,750	△8.5	30	△60.5	70	△39.7	30	△56.9	15.63
通期	3,700	△9.5	150	△30.7	200	△25.9	110	△31.3	57.29

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年12月期1Q	1,920,000 株	27年12月期	1,920,000 株
28年12月期1Q	78 株	27年12月期	78 株
28年12月期1Q	1,919,922 株	27年12月期1Q	1,919,922 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は今後の様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績見通し等に関する事項はP. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報の(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

#### ①当期の経営成績

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策などの効果もあり雇用情勢・所得環境の改善が継続し、景気は総じて緩やかな回復傾向で推移いたしました。しかしながら、中国を始めとする新興国や資源国の動向など、景気を下押しするリスクが存在しており、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

一方、当社が属する出版業界におきましては、スマートフォンやタブレット端末等の普及により情報伝達手段の多様化が進み、紙メディアの市場は近年においてさらに縮小してきております。このような環境の中で、当社は「感動プロデュース企業へ」という企業ビジョンを具現化する中期戦略に基づき、「東京マーケティングドメイン」、「投稿コンテンツドメイン」、「地域密着ドメイン」の3つの事業ドメインにおいて、経営資源の「選択と集中」を図って参りました。

このような営業活動の結果、当第1四半期累計期間の売上高は9億68百万円（前年同期比5.5%減）、営業利益は69百万円（前年同期比15.6%減）、経常利益は73百万円（前年同期比15.1%減）、四半期純利益は41百万円（前年同期比14.1%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### <東京マーケティングドメイン>

東京マーケティングドメインにおきましては、東京圏で、オリジナルのマーケティング・モデルを創造するという戦略のもと、「厳選店舗マーケティング」と「体験価値マーケティング」を軸に事業を展開してまいりました。

「厳選店舗マーケティング」は、当第1四半期会計期間末現在で約240万人の会員数を有する女性向けウェブサイト「オズモール」の成功報酬型の送客サービス「オズのプレミアム予約」シリーズを中心に展開し、独自基準で厳選したビューティーサロン、ホテル、レストランなどの利用予約サービスを提供しております。当第1四半期累計期間においては、新サービスの拡充や予約可能施設の増加などの施策を実施し、前年同期と比較して売上は堅調に推移しております。「体験価値マーケティング」では、「オズモール」や女性向けライフスタイル誌「オズマガジン」、フリーマガジン「メトロミニッツ」などのメディア展開とオリジナルイベントを組み合わせたソリューションビジネスを展開しております。前年同期と比較して、雑誌の販売・広告売上につきましては市場の縮小の影響もあり微減致しました。

このような営業活動の結果、東京マーケティングドメインの売上高は7億1百万円（前年同期比1.5%減）、営業利益は53百万円（前年同期比32.8%減）となりました。

#### <投稿コンテンツドメイン>

投稿コンテンツドメインにおきましては、ターゲット別小説投稿サイトの運営と書籍の発行を継続的に行っております。小説投稿サイトにおきましては、若年層向けのケータイ小説投稿サイト「野いちご」（会員数：74万人）と20代から40代の女性向けの小説投稿サイト「Berry's cafe」（会員数：54万人）を運営しております。当第1四半期累計期間の書籍の販売売上につきましては、若年層向けの「ケータイ小説文庫」は、前年同期と比較しますと売上が減少しておりますが、昨年12月に創刊した「スターツ出版文庫」シリーズの作品が好評を博しており、特に『僕は何度でも、きみに初めての恋をする。』は16万部を発行するヒット作となっております。また、20代から40代の女性向けの「ベリーズ文庫」は読者から安定的な支持を得て堅調に売上が増加してきております。

このような営業活動の結果、投稿コンテンツドメインの売上高は2億10百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益は46百万円（前年同期比29.2%減）となりました。

#### <地域密着ドメイン>

地域密着ドメインにおきましては、地域に密着して信頼の輪を広げ、地域の活性化に貢献することを事業の目的とし、地域密着型フリーペーパー「アエルデ」の広告掲載営業活動と企業の販促物の制作請負を行う事業を継続的に展開してまいりました。「アエルデ」におきましては、飲食店等の広告を掲載する広告営業活動を継続的に行ってまいりましたが、紙クーポン広告市場の縮小とスマートフォンの普及による他社の予約サイトとの競争の激化により、前年同期と比較して売上利益ともに減少しており、本年4月には発行エリアの集約と誌面のリニューアルを行い、事業方針の見直しを図っております。

このような営業活動の結果、地域密着ドメインの売上高は55百万円（前年同期比50.3%減）、営業損失は7百万円（前年同期は営業利益1百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

（資産）

当第1四半期会計期間末の資産は、前事業年度末と比べ30百万円増加し、44億17百万円となりました。流動資産は、現金及び預金が1億33百万円増加した一方で、売掛金が1億77百万円減少したこと等により、前事業年度末に比べ10百万円減少し、33億30百万円となりました。

固定資産は、親会社株式が33百万円増加したこと等により、前事業年度末と比べると41百万円増加し、10億87百万円となりました。

（負債）

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末と比べ19百万円増加し、8億40百万円となりました。流動負債は、買掛金が42百万円、未払法人税等が17百万円減少した一方で、賞与引当金が54百万円増加したこと等により、前事業年度末と比べると17百万円増加し、6億32百万円となりました。

固定負債は、前事業年度末と比べると1百万円増加し、2億7百万円となりました。

（純資産）

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ11百万円増加し、35億77百万円となりました。これは、その他有価証券等評価差額金が27百万円増加した一方で、利益剰余金が16百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期累計期間における現金および現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度に比べ1億33百万円増加し、13億71百万円となりました。

当第1四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、2億27百万円（前年同四半期の得られた資金は3億2百万円）となりました。これは主に、税引前四半期純利益73百万円、減価償却費32百万円計上、売上債権が1億74百万円減少した一方で、法人税等の支払額が63百万円発生し、仕入債務が42百万円減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、38百万円（前年同四半期の使用した資金は40百万円）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出38百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は55百万円（前年同四半期の使用した資金は54百万円）となりました。これは株主への配当金の支払いによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想に関しましては、平成28年2月12日発表の「平成27年12月期 決算短信（非連結）」に記載しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,237,814	1,371,059
売掛金	1,309,736	1,132,430
製品	26,278	30,693
仕掛品	19,924	20,378
前払費用	34,289	28,480
繰延税金資産	40,543	54,886
関係会社預け金	800,000	800,000
その他	359	702
返品債権特別勘定	△125,585	△105,766
貸倒引当金	△2,759	△2,646
流動資産合計	3,340,601	3,330,217
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	16,906	16,419
工具、器具及び備品（純額）	20,450	18,024
有形固定資産合計	37,356	34,444
無形固定資産		
商標権	3,956	3,772
ソフトウェア	316,579	305,408
電話加入権	2,376	2,376
その他	-	25,993
無形固定資産合計	322,912	337,551
投資その他の資産		
親会社株式	509,010	542,366
投資有価証券	59,383	55,550
差入保証金	98,779	98,779
破産更生債権等	21,423	24,542
貸倒引当金	△18,203	△21,322
その他	15,453	15,453
投資その他の資産合計	685,846	715,370
固定資産合計	1,046,115	1,087,365
資産合計	4,386,716	4,417,583

（単位：千円）

	前事業年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	241,958	199,100
未払金	40,188	48,094
未払費用	24,717	32,658
未払法人税等	63,020	45,129
未払事業所税	3,782	939
未払消費税等	27,276	26,897
前受金	24,065	31,275
預り金	36,010	42,648
賞与引当金	18,300	73,200
返品調整引当金	103,061	102,155
ポイント引当金	32,655	30,483
流動負債合計	615,036	632,584
固定負債		
退職給付引当金	14,310	12,289
役員退職慰労引当金	44,800	46,700
繰延税金負債	146,498	148,577
固定負債合計	205,608	207,567
負債合計	820,645	840,151
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	540,875	540,875
資本剰余金	536,125	536,125
利益剰余金	2,149,939	2,133,811
自己株式	△189	△189
株主資本合計	3,226,749	3,210,621
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	339,320	366,809
評価・換算差額等合計	339,320	366,809
純資産合計	3,566,070	3,577,431
負債純資産合計	4,386,716	4,417,583

（2）四半期損益計算書  
（第1四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日）	当第1四半期累計期間 （自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日）
売上高	1,024,801	968,439
売上原価	683,290	649,201
売上総利益	341,510	319,237
返品調整引当金戻入額	114,464	103,061
返品調整引当金繰入額	97,346	102,155
差引売上総利益	358,628	320,143
販売費及び一般管理費	276,215	250,625
営業利益	82,412	69,518
営業外収益		
受取利息	1,063	1,087
雑収入	2,961	2,835
その他	265	-
営業外収益合計	4,291	3,922
営業外費用		
雑損失	190	-
その他	32	-
営業外費用合計	222	-
経常利益	86,481	73,441
税引前四半期純利益	86,481	73,441
法人税、住民税及び事業税	71,814	46,269
法人税等調整額	△33,584	△14,298
法人税等合計	38,230	31,971
四半期純利益	48,251	41,469



（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	86,481	73,441
減価償却費	31,928	32,890
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△161	3,005
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	44,800	1,900
賞与引当金の増減額（△は減少）	50,400	54,900
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△285	△2,020
返品債権特別勘定の増減額（△は減少）	△18,729	△19,818
返品調整引当金の増減額（△は減少）	△17,117	△905
ポイント引当金の増減額（△は減少）	1,786	△2,171
受取利息及び受取配当金	△1,063	△1,087
売上債権の増減額（△は増加）	176,979	174,187
たな卸資産の増減額（△は増加）	6,408	△4,868
その他の資産の増減額（△は増加）	2,029	5,465
仕入債務の増減額（△は減少）	△23,350	△42,857
未払金の増減額（△は減少）	△13,759	△3,529
未払消費税等の増減額（△は減少）	△13,422	3,190
その他の負債の増減額（△は減少）	5,014	18,947
その他	△1,254	△208
小計	316,683	290,460
利息及び配当金の受取額	1,074	1,087
法人税等の支払額	△15,541	△63,952
営業活動によるキャッシュ・フロー	302,217	227,595
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△9,564	-
無形固定資産の取得による支出	△30,511	△38,937
投資活動によるキャッシュ・フロー	△40,075	△38,937
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△54,101	△55,413
財務活動によるキャッシュ・フロー	△54,101	△55,413
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	208,040	133,245
現金及び現金同等物の期首残高	942,685	1,237,814
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,150,726	1,371,059

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ 前第1四半期累計期間（自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	東京マーケティング ドメイン	投稿コンテンツ ドメイン	地域密着 ドメイン	計	調整額(注)	四半期損益 計算書計上額
売上高						
(1) 外部顧客への 売上高	713,029	200,102	111,669	1,024,801	—	1,024,801
(2) セグメント 間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	713,029	200,102	111,669	1,024,801	—	1,024,801
セグメント別営 業利益	79,327	65,460	1,039	145,827	△63,414	82,412

（注）セグメント利益の調整額△63,414千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用になります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期累計期間（自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	東京マーケティング ドメイン	投稿コンテンツ ドメイン	地域密着 ドメイン	計	調整額(注)	四半期損益 計算書計上額
売上高						
(1) 外部顧客への 売上高	701,988	210,930	55,520	968,439	—	968,439
(2) セグメント 間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	701,988	210,930	55,520	968,439	—	968,439
セグメント別営 業利益	53,298	46,336	△7,088	92,547	△23,029	69,518

（注）セグメント利益の調整額△23,029千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用になります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。